

当院での「コロナ・ワクチン」の接種について

多くの市民の皆様へコロナ・ワクチンの接種を受けていただけるように、当院でも日常診療と並行しながら可能な限りの人数のワクチン接種を提供したいという気持ちで望んでおります。

大変申し訳ありませんが、診察の状況や他の接種者の方の体調の具合などにより、ご予約をいただいた時間よりもお待ちいただく可能性もございます。

当院としてもスムーズに接種いただける様に、最大限つとめてまいります。

温かいご理解とご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

● 院内での流れ ●

- ①まず、処置室にて看護師および医師が予診表と体調を確認して、ワクチン摂取の可否を判断します。ご質問があればお声がけください。
- ②その後、看護師にてファイザー社の「コミナティ」ワクチンの筋肉注射での接種を行ないます。（1994年から法の改正に伴い診療補助行為としての看護師の予防接種が認められております）抗凝固薬を内服している方は、休薬不要で、接種後に2分以上圧迫止血ください。
- ③処置室の椅子にて15分間お掛けになっていただき、アレルギー反応がないか経過観察をします。アレルギーの既往をお持ちのかたは30分間の経過観察が必要です。あらかじめお申し出ください。

・軽症のアレルギーは「かゆみ」「蕁麻疹」で出現しやすいです。皮膚のかゆみ・発赤などあればお教えてください。この場合はすぐに抗アレルギー剤の皮下注を行ったのち、抗アレルギー薬を5日間処方します。

・重症のアレルギーは咽頭違和感・全身のかゆみ/蕁麻疹・喘鳴・呼吸困難・下痢・血圧低下・意識障害などの症状があります。ご気分が悪い際はすぐにお声がけください。重症のアレルギーがあれば、アドレナリンの筋肉注射を打って、すぐに救急車を手配します。どこの施設からの救急搬送でも二次救急指定病院がすぐにアレルギーショックに対応いただけるように江南市内で流れが組まれておりますのでご安心ください。

・一般論として接種後の数時間はアレルギーの注意が必要です。また一度アレルギー反応が起きた方は、症状改善後も72時間以内に2回目のアレルギー反応が起こりやすいと言われております。いったんアレルギー反応が治まった方も、接種後72時間は慎重に様子観察ください。

● ワクチンのQ&A ●

Q ワクチン接種ができない人はいますか？

A 妊婦・授乳婦へのワクチンの安全性は確認されておりませんので、接種をお控えください。
それ以外に1回目の接種のできない方はいません。1回目の接種で軽症であってもアレルギー症状の方
は、2回目の接種はお控えください。（ファイザー社やモデルナ社のmRNAワクチンでアレルギーがでていても、現時点ではアストラゼネカ社のワクチンは種類が異なるため接種可能とされていますが、日本ではまだ流通しておりません）

βブロッカー（高血圧・頻脈・心不全治療薬）を内服している方は、アナフィラキシー時のアドレナリン注射の効果が弱くなる可能性があります。あらかじめ主治医にご相談ください。

Q ワクチンの接種でどれくらい免疫ができますか？

A 1回目の接種の2週間後には、約80%の方が免疫を得ています。2回の接種が完了し2週間経過した場合、65歳以上で90%、65歳未満で95%の方が免疫を獲得することが分かっています。
ただし一部の固形臓器移植後などの免疫抑制剤を使用している方（ステロイド・リツキシマブなど免疫抑制剤を使用している方など）の免疫獲得率は20%以下だと言われています。
免疫抑制薬や抗癌剤使用中の患者様は接種のタイミングを主治医に確認するようにお願いいたします。

Q 2回目の接種で、1回目よりも副反応があるとききます。どうしたらいいですか？

A 2回の接種では、1回目の摂取で免疫獲得が来ている場合に、ワクチンの成分と自己免疫による免疫応答が起こるために、接種部位の「腫れや疼痛」、「発熱」などの症状が出る場合があります。
まれに腋窩のリンパ節が腫れることもあります。1回目のワクチンでしっかりと免疫が獲得できる若い年齢の方が、とくにこれらの症状が強いようです。

子宮頸がんワクチンなど他のワクチンで、コロナルの予防的な投与でワクチンの効果が低下したという報告がされております。これをもとに、コロナワクチンでも予防的なコロナル等の投与は推奨されていません。

ただし、実際に熱・疼痛などの症状が出た際は、すでに免疫がしっかりと成立しているサインですので、ためらわずにコロナルを使用してください。このような免疫応答の症状は通常1-3日程度で自然に改善・消失していきます。

※ 接種部をもまないでください。もむと内出血をしたり、しこりができる可能性があります。

※ お風呂は入っても構いません。ただし接種部をゴシゴシこするとそこから細菌が入ったり、刺激が加わって腫れがひどくなる場合があります。ご注意ください。

※ 少し腫れたりかゆかったりしても、炎症（腫れ具合や発赤の程度）がひどくならないようにあまり触らず、冷やす程度にしてください。多くの方は2-3日程度で、接種部の違和感が改善します。

ご不明な点があれば、当院または、江南保健センター（0587-56-4111）までお問い合わせください。 文責：まり泌尿器・漢方内科 0587-56-5222

